令和4年10月27日(木)発行

理科コアティーチャーによる授業研究会

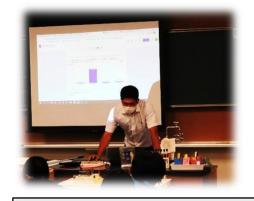
9月26日(月)に、理科の授業力向上や児童生徒の学力向上を目的とした「第1回理科授業力アップ研修会」を開催しました。中学校の理科コアティーチャーである只見町立只見中学校 渡部兼介先生に第1学年「水溶液の性質」の授業を提供していただき、生徒の主体性を引き出したり、資質・能力を確実に高めたりするための授業づくりについて協議しました。



今年度実施された全国学力学習状況調査(理科)では、小学校でも中学校でも、「学びのプロセス」の質を問う内容が多く出題されました。今回の全国学調では、「実験計画をどう修正すればよいか」「どうすれば適切に記録できるか」など、普段の授業で「児童生徒が主体となって①課題を設定し②仮説を立て③検証計画を考え④実験・観察し⑤結果を記録し⑥結論を導出し⑦考察し⑧学習を振り返る」という学習過程を経験していないと解けない設問がたくさんありました。

渡部先生は、今回、学習過程の中の「考察」に重点を置いた 授業を提案してくださいました。授業では、生徒が前時までの 実験の記録を踏まえて、「水溶液から溶質を取り出す方法」に ついて考え、真剣に話し合う姿が見られました。





渡部先生は、生徒の資質・能力を確実に高めるために、授業の導入でタブレットを使った小テストを実施しています。これにより、生徒は、短時間にウォーミングアップ感覚で前時までの学習内容を振り返ることができます。また、渡部先生も、その場でクラス全員の学習内容の定着具合を捉え、必要な部分を解説することによって生徒の意識を本時の授業のねらいに向けることができます。資質・能力の向上や生徒の実態把握の手立てとして、少しの準備で大きな成果が得られる効果的な「CTの活用事例を紹介していただきました。

~参加者の感想~

- 子供の意見を生かしながら授業を展開することの大切さを感じた。
- ICTの活用について新しい発見があった。今後の実践に生かしたい。
- 生徒の実態を把握することの大切さを改めて感じた。
- 理科の授業について話し合う機会があまりないので貴重な時間だった。



10月11日(火)に開催した「第2回理科授業力アップ研修会」では、小学校の理科コアティーチャーである南会津町立田島小学校 目黒了先生に、第6学年「大地のつくりと変化」の授業を提供していただきました。



目黒先生は、「実感を伴った理解を図る授業」をテーマに、児童が学習課題を身近に感じられるような単元計画を設定しました。授業では、単元導入での「弁天山見学」の際に6年生が感じた「弁天山の地層はどのようにしてできたのだろうか?」という問いをもとに、学習が展開されていきました。途中、「流れる水の働きによって石が丸くなること」「火口から噴出した溶岩は裾野に広がるように堆積していくこと」についての実演があり、子供たちからは「おーっ!」という歓声が上がりました。これらの演習は、指導書には掲載されていませんが、目黒先生が学習内容を「実感を伴ったもの」にするための工夫として授業に位置付けたものです。





教科書に沿いながら2つの実演を交えて地層の形成過程を学んだ子供たちは、いよいよ本時の学習課題である「弁 天山の地層はどのようにしてできたのだろうか?」についての考察に入りました。

ある子はタブレットで撮影した弁天山の地層を凝視し、ある子は「先生!顕微鏡使ってもいいですか?」と自分で機材を準備して、弁天山で採取した鉱石をじっくりと観察し、ある子は教科書を読み返しながら友達と話し合う。<u>教室内の全員が「誰かに解決してもらおう」ではなく、「自分で解決しよう」という姿勢で考察に臨んでいました。</u>

~参加者の感想~

- 自分の生活と結び付けて考える力が育つ授業だと感じた。
- 実験道具の準備や片付けを普段から行わせることの大切さを学んだ。
- 児童それぞれが主体的に取り組み、根拠をもって話し合っていた。
- 前のめりで、本気になって解決しようとする児童が多かった。



どちらの授業でも、今求められている「子供たちが自ら学ぶ姿」がたくさん見られました。 11/29(火)に、田島小学校を会場に第3回理科授業力アップ研修会を予定しています。3回 目は実技講習会として、目黒先生と渡部先生と教育センターの佐藤輝男先生から、「翌日から使える 理科授業のアイディア」を教えていただく予定です。

理科授業のアイディア」を教えていただく予定です。 授業づくりや授業準備のポイントなど、理科を担当している先生にとっても、今は担当していない 先生にとっても、ためになるアイディアがたくさん提供されます!興味のある方はぜひ教育事務所ま でご連絡ください。

福島県教育庁南会津教育事務所 学校教育課

TEL 0241-62-5255 HP https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70510a/

